



公立高校進路先検討会議を行いました

25日(木)、77期生の公立高校の出願先を確認し、その合格の可能性や、入学許可候補とならなかった場合に進路先がしっかり決定しているかどうかについて、全クラスを検討・確認する「公立高校進路先検討会議」を行いました。

私立高校の合格が決定している生徒については、現時点で第1希望の公立高校の合格ラインに届いていない場合でも、高校生になれることが決定しているので、本人やご家庭の希望を尊重して、希望校の受検を応援したいと考えています。しかし、公立高校のみ受検(公立1本)の場合、万が一、内定ができない場合は、卒業までに進路先が決まらないこととなります。検討会議で、「再考が必要である」とされた生徒には、随時、二者面談・三者面談を行い、出願校を決定していきますので、よろしくお願いします。

「ダメなら二次募集を」と考えている人もいるかもしれませんが、再三申し上げているように、二次募集は定員に満たなかった学校のみが募集するもので、必ずあるとも限りません。(昨年度は一部、募集がありました。特に普通科は皆無なことが過去多かったです。) あった場合でも「遠い学校」「希望の学科ではない」等、選択に大きな制限がかかることとなります。

「もしダメだったら...？」あまり考えたくないことかもしれませんが、慎重に慎重を期すための指導ですので、保護者の皆様もご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

公立高校調査書の全校点検を行いました！

3学年担任は、私立高の調査書・推薦書等の作成と並行し、公立用調査書の作成も行い、先日、全員分を作成し終えました。学年職員で相互点検をしていますが、四中では、写真A～Cのように全校職員が分担して、3年生全員の公立高調査書の内容を確認しています。その『公立高校調査書全校点検』を26日(金)午後に行いました。

「進路指導」というと、どうしても3年生の先生だけが携わっているようなイメージがあるかもしれませんが、本校では、四中全職員で受検生をサポートしていることを、ぜひ知っていただければと思います。

この点検作業を受けて担任は調査書を完成させ、昨日29日(月)、生徒提出の書類とともに『公立高校出願書類の最終点検・取りまとめ』を行いました。(写真D) 私立高校の点検・とりまとめ時もそうでしたが、「この生徒は成績を伸ばしているから、ぜひこのまま合格してほしい」「この子は中学校でたくさん活躍したから何とか合格点に届いてほしい」等々、生徒1人ひとりの顔を思い出しながら点検を行い、校長先生の最終点検を受け、押印をしていただきました。

今年の出願は今までと違い、①窓口出願の人、②インターネット入力で郵送出願の人、③紙願書で郵送出願を希望する人と動きがそれぞれ違います。出願時の詳しい動きについては、「2学期末保護者会資料」または「四中HP < 進路関係 > こんなときどうする」を確認してください。

